

# SON-DAY, MAY 17<sup>th</sup> 2026 WORSHIP SERVICE No.1165

✠ 単立キリスト教会 マラナサ・グレイス・フェローシップ Maranatha Grace Fellowship [MGF] Since Jan. 18, 2004

教会所在地: 〒380-0802 長野市上松2丁目7-20 ☎: 026-219-2388 牧仕: Kaz, 菊地 一徳 (かずなり)

✪ <https://mgfchrist.com> ✪ [www.facebook.com/mgf.nagano.japan](http://www.facebook.com/mgf.nagano.japan) ✪ [jesus-mail@mgfchrist.com](mailto:jesus-mail@mgfchrist.com)

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

## 礼拝黙想 Meditating on Worship

「私たちは牧師が語るのが厳し過ぎるだとか、さばきを多く語り過ぎるという苦情を聞く。

救われた罪人たちは決してそのような苦情は言わない。」(チャールズ・スポルジョン)

### A 神のさばきの宣告 1

「世の光」の時間です。お聴きくださりありがとうございます。羽鳥頼和です。▲今週は、「神のさばき」についてお話します。聖書で語られている「さばき」は、広い意味では人々を治めることを言います。さばきを行う人は、指導者、支配者、統治者のことです。聖書では王がその立場にありました。▲そして、王による裁判にも「さばき」ということばが用いられています。そして、聖書が教えている「神のさばき」には、いくつかの特色があります。▲それは、全世界の本当の支配者である神が、人に対して行うことです。正しい神が行うさばきですから、そのさばきも正しく、公正であり、絶対に間違いがありません。神は、悪を滅ぼし、人を救うためにさばきを行われます。▲今日は、旧約聖書のエゼキエル書 21 章の前半のみことばから、「神のさばき」についてお話します。▲神は言われました。「今、わたしはおまえを敵とする。」(エゼキエル書 21:3) ▲人が、神に対して裏切り行為をするとき、神は人をさばくのです。神は、もともと人の味方でした。神は、人を、夫婦のようにご自分と互いに愛し合う存在として創造し、いのちを与えられました。愛するものとして造られた人が、神を裏切ったのです。それで、神ははっきりと、「わたしはおまえを敵とする。」と厳しく言われるのです。▲エゼキエル書 21 章の前半で「神のさばき」について語られているもう一つのことばは、神は、さばくことによって、ご自分の憤りを収めるといことです。神はさばきによって、神の正義を実現します。神は悪いことがそのままになっている状態を怒っておられる方です。それで神は正しいさばきを行なうことによって、悪いことがなくなることで、ご自分の怒りを収めて、悪がなくなったことに満足されるのです。▲神のさばきは、悪を滅ぼし、神の救いを実現する神のわざです。明日も神のさばきについてお話します。

\*\*\*\*\*

### 神のさばきの宣告 2

聖書が教えている「神のさばき」には、いくつかの特色があります。神のさばきとは、全世界の本当の支配者である神が人に対して行うことです。正しい神が行うさばきですから、そのさばきも正しく、公正であり、絶対に間違いがありません。神は、悪を滅ぼし、人を救うためにさばきをおこなわれます。▲今日は旧約聖書エゼキエル書 21 章の後半で語られている「神のさばき」についてお話します。21 章の後半には、罪を犯し続けてきた人々に神がさばきを下されることが語られています。神はこう言われました。「わたしはおまえの上にわたしの憤りを注ぎ、…滅ぼすことにたけた残忍な者たちの手に、おまえを渡す。」(エゼキエル書 21:31) ▲「残忍な者たち」とは、バビロン帝国のことです。バビロンは異教の神を信じている人々であり、占いをする人々でした。神はなぜそのような人々を使ってさばきを行われるのでしょうか。それは、人々に自分たちの罪を思い起こさせるためでした。▲神はこう言われています。「あなたがたの背きはあらわにされ、あなたがたのすべての行いに罪が現れて、あなたがたの咎がわたしに思い起こされる。こうして彼らは捕らえられる。」▲「背き」も「咎」も人の罪のことですが、特に「背き」とは、神を裏切ることを言います。ここで、神は「こうして彼らは捕らえられる」と教えています。これは、外国に強制的に移住させられることで、実際の歴史上の出来事であるバビロン捕囚のことです。バビロン捕囚は、神のさばきだったのです。神のさばきは、人に自分の罪を教えるために神がなさることです。神によって救われるために、人がまずしなければならぬことが、この「自分の罪を知ること」なのです。\*\*\*\*\*

### 神のさばきの宣告 3

聖書が教えている「神のさばき」には、いくつかの特色があります。神のさばきとは、全世界の本当の支配者である神が、人に対して行うことです。正しい神が行うさばきですから、そのさばきも正しく、公正であり、絶対に間違いがありません。神は、悪を滅ぼし、人を救うためにさばきを行われます。▲今日は、旧約聖書のエゼキエル書 22 章の前半からお話をします。ここには、罪を犯し続けてきたイスラエルへの神のさばきの宣告が語られています。神は必ずさばきを行うと教えているのです。ここで、神は、人々が犯した罪を教えておられます。▲神は、罪のことを「忌み嫌うべきわざ」と語っておられます。罪とは、忌み嫌うべき行いなのです。神はまず、罪を教えて、その罪が嫌うべき行いであることを教えているのです。神は、さらに罪を具体的に教えています。▲「あなたがたは、人を傷つけている。そして自分のために偶像の神を作り、それを礼拝している。自分の父親、母親を敬わないで軽んじている。あなたがたのうちに住んでいる外国の人々、親のいない子どもたち、夫に先立たれてしまった未亡人を助けることをせず苦しめている」そして神は、「おまえはわたしを忘れた」(22:12)と語っておられます。▲「神を忘れること」こそ、罪の核心です。さらに神はさばきについて教えています。神はこう言われています。「おまえの汚れをすっかり取り除く。」(22:15)「そのときおまえは、わたしが主であることを知る。」(22:16) 神のさばきが行われることによって、罪が取り除かれ、きよくされるというのです。▲また、神のさばきが行われることによって、人は、聖書の教える神が本当の神であり、人を救ってくださるお方であることを知るのである。\*\*\*\*\*

### 神のさばきの宣告 4

TRUE WORSHIPPERS, HOT GOSPELLERS, JESUS FREAKS

To Know Christ And To Make Him Known ☑ Love God And Love People ☑ Jesus Is Coming

今日は、旧約聖書のエゼキエル書 22 章の後半で、神が語られている「神のさばき」についてお話しします。▲神は、罪を犯し続けているイスラエルにこう言われました。

「あなたがたは、わたしにとって金かすとなった」▲「金かす」とは、価値のないもののことです。罪は、その人を、価値のないものにします。実際、このとき国は不信仰に陥っていました。偶像崇拜が行われ、すべての人が、神が禁じておられる悪を行っていました。神の教えを守らず、むしろ神を裏切っていたのです。▲神は、さうにこう言われました。「この地を滅ぼすことがないように、わたしは、この地のために、わたしの前で石垣を築き、破れ口に立つ者を彼らの間に探し求めたが、見つからなかった。」(22:30) ▲神は国が滅びないように城壁をたてました。その城壁が崩されると、その破れ口を修復し、国を復興させる信仰のある人を探しました。しかし、そのような人は見つかりませんでした。▲それで、神は、国は滅びると宣言されています。しかし、この神のこぼを注意して聴くとき、ここに神の救いの約束があるのです。神は、国を滅ぼすことを「金かすであるあなたがたを炉に入れて溶かす」と言っています。▲炉に入れて溶かすというのは、不純物の混ざっている金属を溶かしてきれいで純粋な金属にすることです。▲神は、金かすである彼らを国の滅亡という火を通して、きよめて価値あるものに回復しようとしておられるのです。▲神は、「破れ口に立つ者」としてイエス・キリストを遣わされました。そして神は、キリストの十字架によって、すべての人の罪を完全にさばかれたのです。神のさばきは、すべての罪をさばき、人をきよめて、神との関係を回復する神の救いのわざなのです。  
\*\*\*\*\*

#### 外国を慕ったことへのさばき

今日は旧約聖書のエゼキエル書 23 章で、神が語られている「神のさばき」についてお話しします。▲神は、人の行っている罪

が、いかに、ひどいものであり、神に嫌われることであるかを教えるために例えを用いて語られました。23 章の前半で、神は北の王国イスラエルが神のさばきによって滅ぼされたことを例えて話されました。▲イスラエルを、ご自分と結婚をした妻に例えて語っています。神はイスラエルを愛しているのです。▲そして、イスラエルの行っていた罪を「淫行」に例えています。淫行とは、みだらな行いのことで、夫婦の関係を裏切ることです。結婚は、ふたりがずっと一緒に生きることと、互いに愛し合うことを約束する、契約に基づいています。しかし、淫行はそのきよい約束をやぶることです。▲罪は、神が結ぼうとされている愛の関係を一方的に壊してしまう、神への裏切り行為なのです。▲例えで罪のことを語られた神は、彼らが行った罪を知っておられました。聖書では、それを「ヤロブアムの罪」と言っています。ヤロブアムは北の王国の最初の王でした。▲彼は、神に逆らい、自分勝手な礼拝を行いました。彼は、勝手にベテルとダンに祭壇を作り、金の子牛の像を祀って、そこで神を礼拝させました。間違った礼拝をささげさせてしまったのです。▲そのうえ、外国の神々を崇拝することをやめませんでした。また、彼は礼拝などの宗教儀式で奉仕をする祭司を自分勝手に選んでしまったのです。▲このような彼の罪が、彼の死後も王国でずっと行われ続けていたのです。このような神への裏切り行為に対して、神は国を亡ぼすという、さばきを行われたのです。

\*\*\*\*\*

#### 外国を慕ったことへのさばきの宣告

▲今日は、旧約聖書のエゼキエル書 23 章の後半で、神が語られている「神のさばき」についてお話しします。▲神は、人の行っている罪が、いかに、ひどいものであるかを教えるために例えを用いて語られました。▲23 章の後半で、神は南の王国ユダがこのまま罪を悔い改めないなら、神のさばきによって滅ぼされることを例えて話されました。▲ユダを、ご自分と結婚をした妻に

例えて語っています。そして、ユダの行ってきた罪を淫行に例えています。▲淫行とは、みだらな行いのことで、夫を裏切ることです。結婚は、二人がずっと一緒に生きることと、互いに愛し合うことを約束する、契約に基づいています。しかし、淫行はそのきよい約束をやぶることです。罪は、神が結ぼうとされている愛の関係を一方的に壊してしまう、神への裏切り行為なのです。▲そして、神は、ユダの行った罪、裏切り行為を知っておられます。ユダは、神よりも外国を愛しました。強い外国、繁栄している外国にあこがれて、同盟関係を持つとして、外国の偶像の神々を自分たちの国に積極的に取り入れたのです。神が礼拝の場所として定めたエルサレムの近くに、異教の神々の祭壇を作り、そこで子どもをいけにえにささげていました。エルサレムの神殿の中にも異教の神々の祭壇を作りました。▲神への礼拝は、形式的なものになってしまいました。過ぎ越しの祭りなど、神の定めた祭りも行われていませんでした。▲神は、彼らのひどい裏切り行為に対して腹を立てていることを教え、悔い改めないなら外国によって国を亡ぼすと警告されたのです。神は悔い改めを迫ったのです。▲神のさばきの宣告は、自分の罪を悔やんで、神に立ち返ることを迫る愛のメッセージです。神はキリストの十字架によって、すべての人の罪を完全にさばかれました。▲神のさばきは、すべての罪をさばき、人をきよめて、神との関係を回復する神の救いのわざなのです。(PBA 太平洋放送協会)  
\*\*\*\*\*

すべての人は、神と向き合わなければならない。救い主としてか、さばき主としてか・・・Ω

### <お知らせ Announcement>

- ★5月24日(日) ペンテコステ特別礼拝 スペシャル・ポットラック
- ★5月31日(日) ディアコノス・ランチ

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1:23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2:10)。